

新型コロナウイルスワクチン接種後に肉眼的血尿が出現した3症例

◎横山 隣¹⁾、森田 賢史¹⁾、久末 崇司¹⁾、中司 成¹⁾、田中 雅美¹⁾、小野 佳一¹⁾、矢富 裕¹⁾
東京大学医学部附属病院¹⁾

【はじめに】

2021年現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を奮っており、本邦では精力的な新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる。2021年6月、日本腎臓学会より

「COVID-19ワクチン接種と肉眼的血尿出現の関連性に関する調査研究」アンケート調査結果が公表されており、本ワクチン接種と肉眼的血尿の関連性が示唆されているが、尿沈渣像の特徴などについては具体的な記載はない。今回我々は、本ワクチン接種後に肉眼的血尿が出現した3症例を経験したので報告する。

【症例1】

女性。本ワクチン2回目接種翌日に肉眼的血尿が出現し当院を受診した。初診時、[尿定性]蛋白(3+)、潜血(3+)、[尿沈渣]赤血球(100-/HPF)、赤血球円柱(20-29/WF)、白血球円柱(1-4/WF)であった。

【症例2】

男性。本ワクチン2回目接種翌日に肉眼的血尿が出現したため当院受診。初診時、[尿定性]蛋白(2+)、潜血(3+)、[尿

沈渣]赤血球(20-29/HPF、糸球体型大部分)、赤血球円柱(1-4/WF)であった。

【症例3】

女性。本ワクチン1回目接種翌日に肉眼的血尿が出現。救急外来受診時、[尿定性]蛋白(3+)、潜血(3+)、[尿沈渣(翌日)]赤血球(50-99/HPF、糸球体型大部分)、赤血球円柱(1-4/WF)であった。

【まとめ】

本ワクチン接種後に肉眼的血尿が出現した3症例を示した。いずれの症例も尿沈渣検査の結果からは、赤血球円柱が存在し、糸球体性出血が示唆される結果であり、糸球体腎炎が出現している可能性が考えられた。これら3症例は、尿沈渣鏡検時に患者背景を確認する際、偶発的にワクチン接種のエピソードを知り得たものである。今後、本ワクチン接種と肉眼的血尿における関連性の解明のため、類似症例の蓄積と疫学的な調査が必要であると考えられる。

連絡先：03-3815-5411(内線：35022)